

取扱説明書

HITACHI

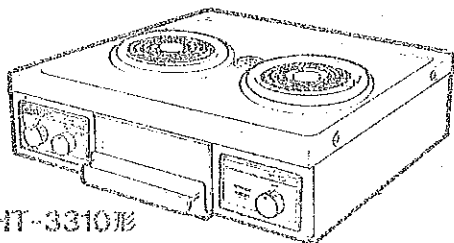
日立電器株式会社

51

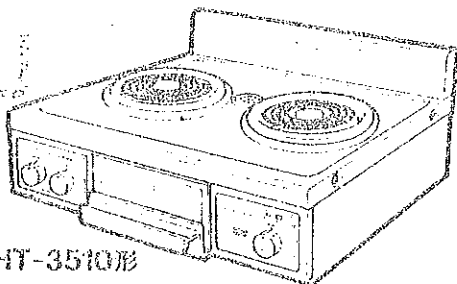
日立電気キッチンヒーター

家庭用

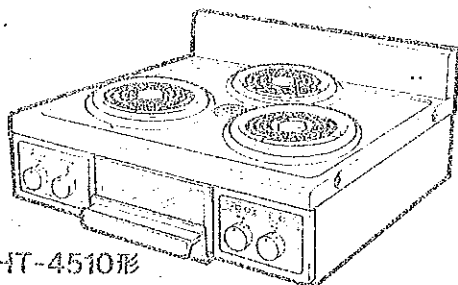
HT-3310形
HT-3510形
HT-4510形



HT-3310形



HT-3510形



HT-4510形

このたびは日立電気キッチンヒーターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後はご相談窓口一覧表、保証書とともに大切に保存してください。

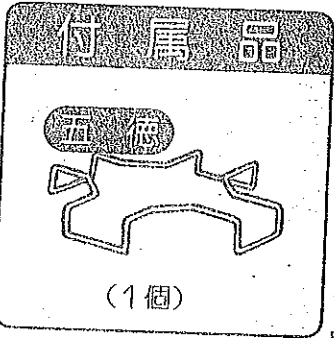
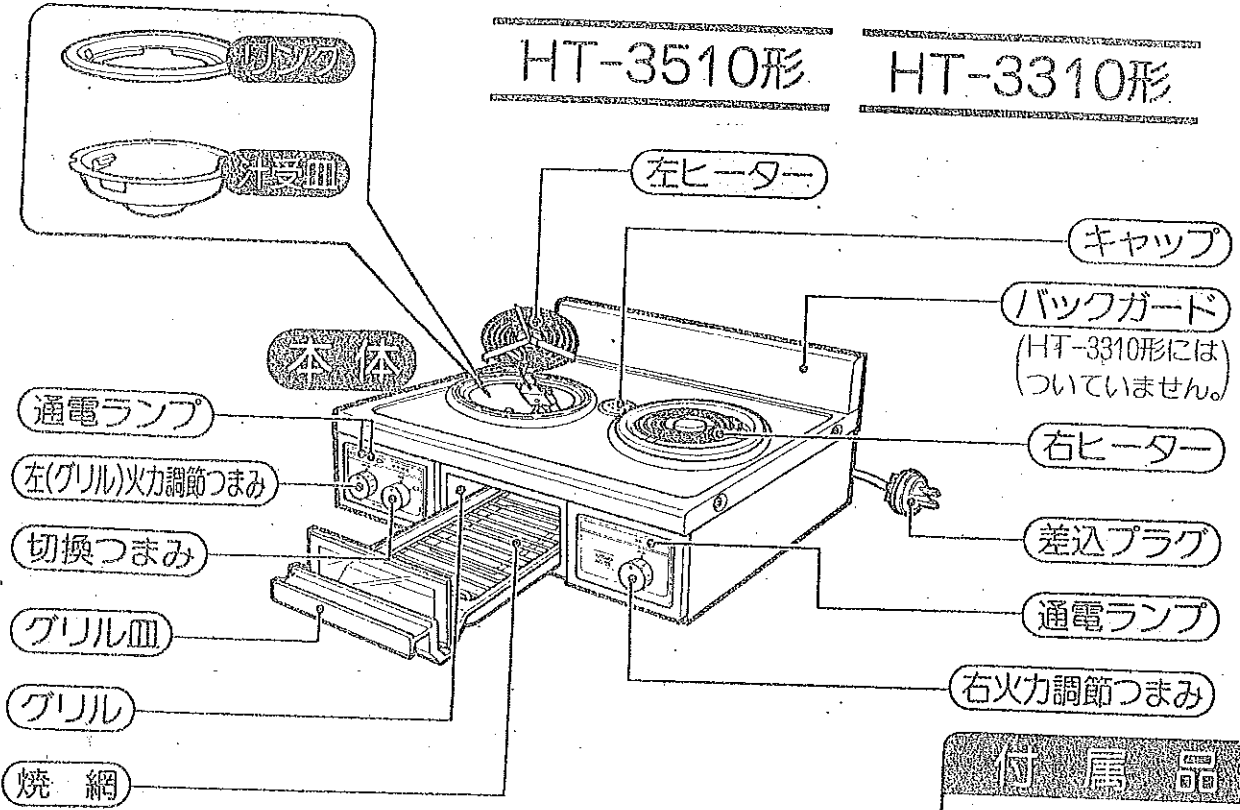
もくじ

| | |
|-------------|-----|
| 各部のなまえ | 1 |
| 使いかた ヒーター | 2~4 |
| グリル | 2~4 |
| 必ずお守りください | 5 |
| じょうずな使いかた | 5 |
| お手入れ | 6 |
| 仕様 | 7 |
| アフターサービスと保証 | 7 |

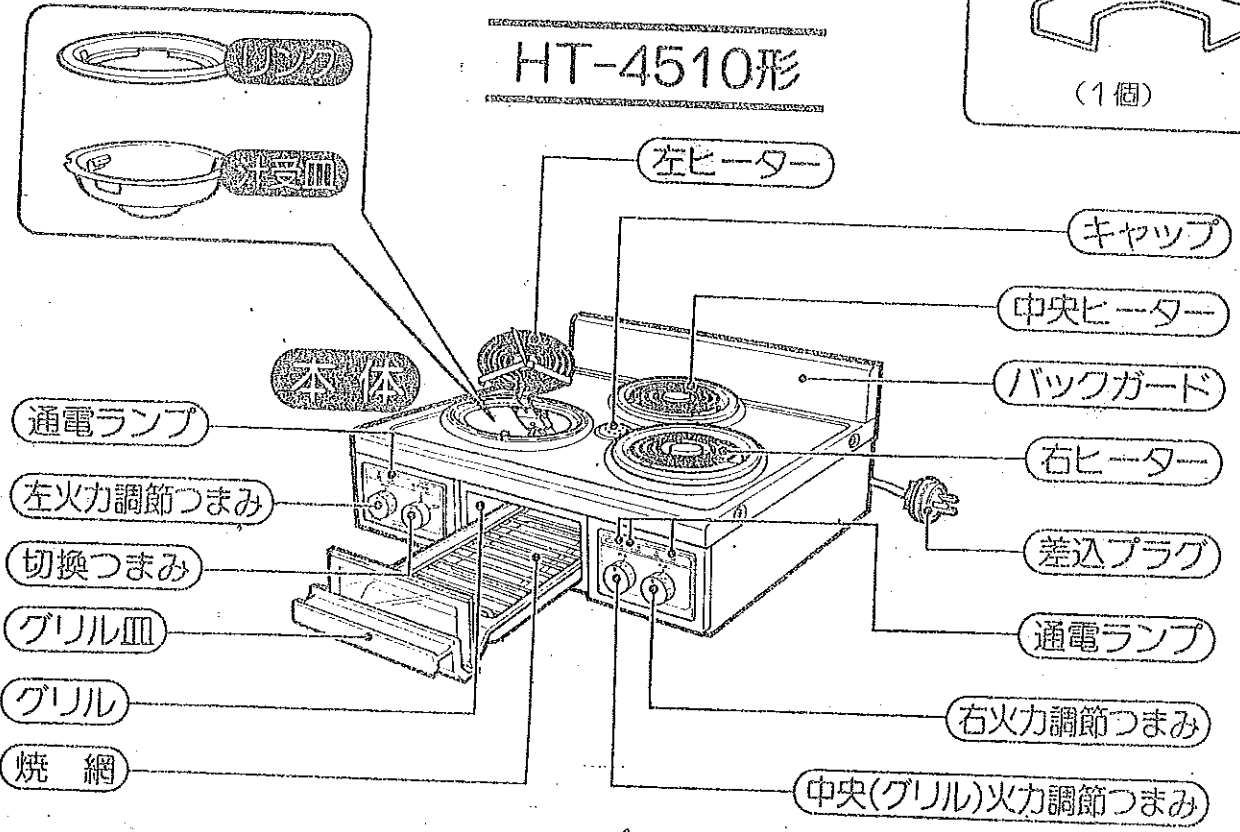
各部のなまえ

HT-3510形

HT-3310形



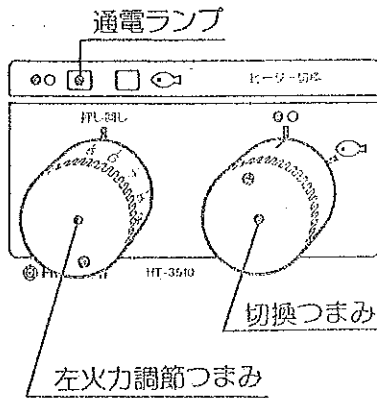
HT-4510形



使いかた

ヒーター

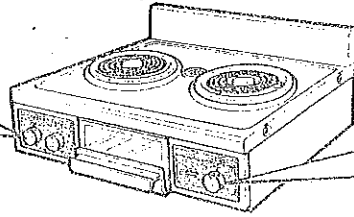
左ヒーターを使う場合



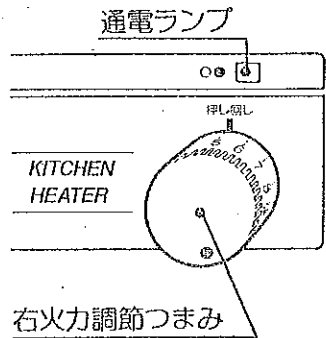
- ① 切換つまみを●○印に合わせます。
- ② 左火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ③ ●○印側の通電ランプが点灯します。

HT-3510形

※HT-3310形の使いかたはHT-3510形と同じです。



右ヒーターを使う場合

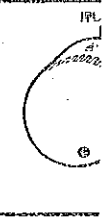


- ① 右火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ② ●○印側の通電ランプが点灯します。

左ヒ-



- ① 左火
- ② だは、
- ③ ●○印
- ④ 点灯



切換つまみ

ヒーターとグリルの切換で回転式になっています。

火力調節つまみ

左右どちらでも回る押し回し式です。

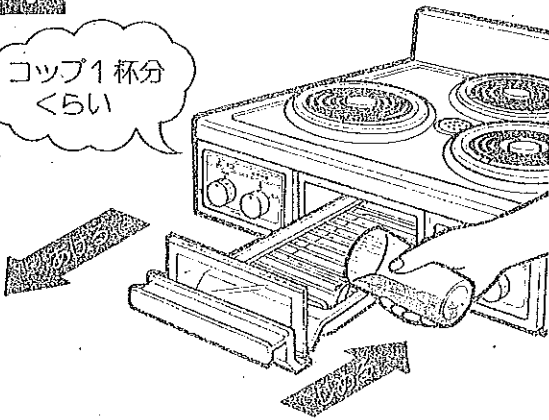
通電ランプ

火力調節つまみを目盛り「弱」～「強」に合わせると点灯しヒーターに通電されたことを示します。

グリル

1 水を入れます

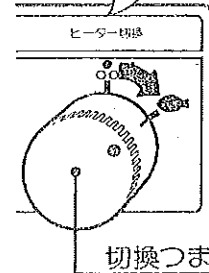
コップ1杯分
くらい



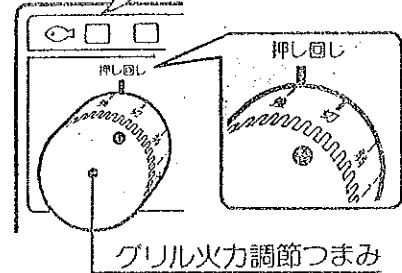
水を入れないと煙が多く出たり、庫内の汚れがひどくなります。

2 予熱します(1~2分)

切換つまみを○印に合わせる



グリル火力調節つまみを「強」にする



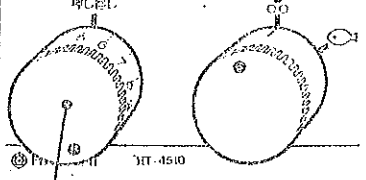
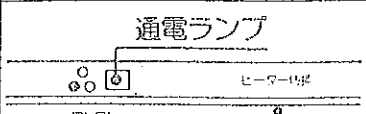
- ヒーターに始めて通電しますと、煙が出ますが故障ではありません。
- 予熱をすると魚などが焼網にこびりつきにくくなります。

場合

押し

合わせる
します。

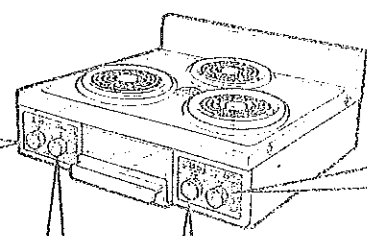
左ヒーターを使う場合



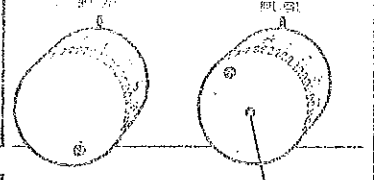
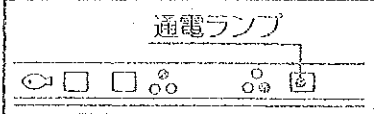
左火力調節つまみ

- ①左火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ②⊙印側の通電ランプが点灯します。

HT-4510形



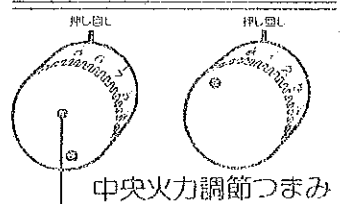
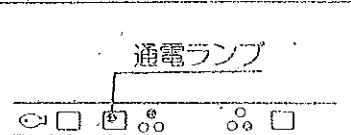
右ヒーターを使う場合



右火力調節つまみ

- ①右火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ②⊙印側の通電ランプが点灯します。

中央ヒーターを使う場合



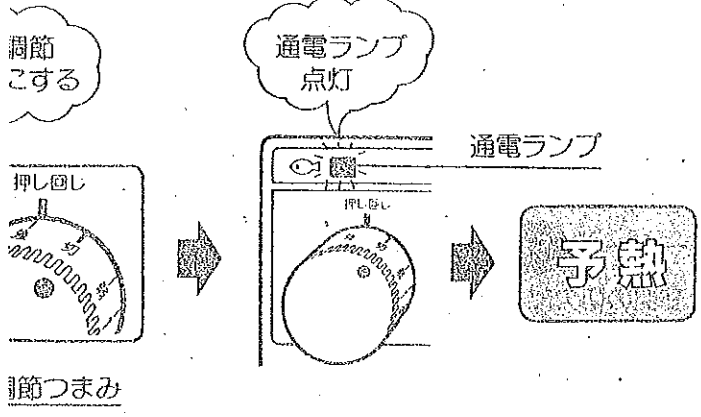
切換つまみ

中央火力調節つまみ

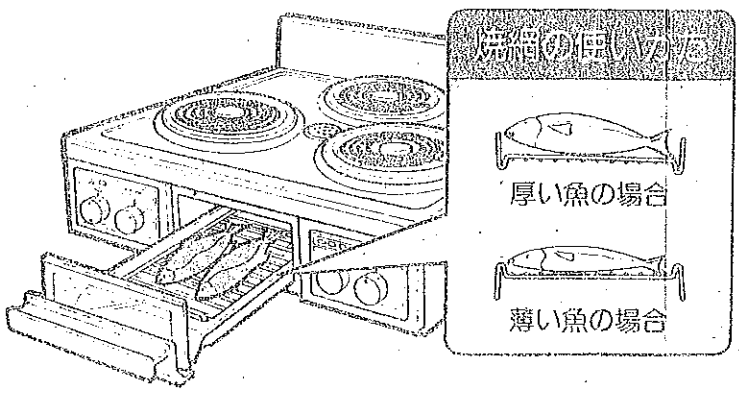
- ①切換つまみを⊙印に合わせます。
- ②中央火力調節つまみを右または、左に押し回します。
- ③⊙印側の通電ランプが点灯します。

HT-
HT-
HT-
ヒーター
変わりま
つけてく

3 魚など焼くものを入れます



故障ではありません。
なります。

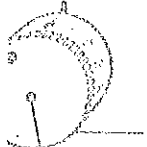
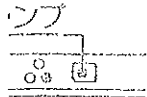


グリルのガラスに水がかかると割れることがありま
すのでご注意ください。

グリルは通
ことがあり

列座。よく使いたい。ために、いすもさるし、しるる。いすもさるし、しるる。

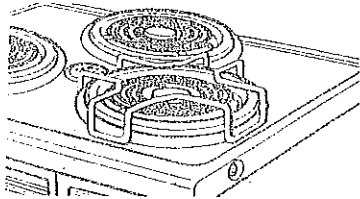
使う場合



まみを右ま
み回します。
ランプが

消灯します。
右または、

均一な熱が必要な



均一な熱が必要な
ホットケーキや、
網でもちなどを焼
くときに使います。

火力調節つまみを「切」に合

- ①火力調節つまみを「切」に合
合わせます。
- ②通電ランプが消灯します。

火力の目安

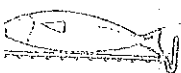
| | | 弱1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 強10 |
|----------|--------|-------|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| HT-3310形 | 右ヒーター | と ろ 火 | | | 弱 火 | | 中 | | 火 | | |
| | 左ヒーター | と ろ 火 | | | 弱 火 | | 中 | | 火 | | |
| | グリル | と ろ | | | 火 | | 弱 火 | | 中 火 | | |
| HT-3510形 | 右ヒーター | と ろ 火 | | | 弱 火 | | 中 | | 火 | | |
| | 左ヒーター | と ろ 火 | | | 弱 火 | | 中 火 | | 火 | | |
| | グリル | と ろ | | | 火 | | 弱 火 | | 中 火 | | |
| HT-4510形 | 右ヒーター | と ろ 火 | | | 弱 火 | | 中 | | 火 | | |
| | 左ヒーター | と ろ 火 | | | 弱 火 | | 中 火 | | 火 | | |
| | 中央ヒーター | と | | | ろ 火 | | 弱 火 | | 中 火 | | |
| | グリル | と | | | ろ 火 | | 弱 火 | | 中 火 | | |

ヒーターは火力調節をしてもすぐには火力が
変わりません。ふきこぼれや焦げつきに気を
つけてください。

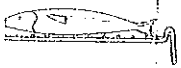
火力調節つまみを「弱」と「切」、「切」と「強」の間
では使わないでください。電気が切れない場合
や通電しない場合があります。

れす

均一な熱が必要な



厚い魚の場合



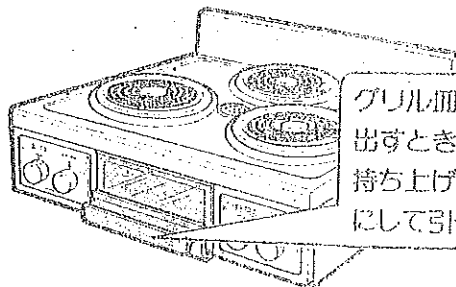
薄い魚の場合

①上面がお好みの焼け具合になっ
たら裏返してください。

②火力が強すぎる場合は調節して
ください。

4 使い終わったら

- ①グリル火力調節つまみを「切」に合わせます。
- ②○印側の通電ランプが消灯します。



グリル皿を取り
出すときは少し
持ち上げるよう
にして引き出す。

グリルは通電をやめても余熱で高温になっています。調理物を入れたままにしておくと焦げすぎる
ことがありますので早めにグリルから出してください。

必ずお守りください

感電、火災、やけどと故障を防ぐために

お手

| | | |
|---|---|--|
| <h3>電源は正しく</h3> <p>電気工事店または施工主に工事が確実にされているかご確認ください。</p> | <h3>やけどに注意</h3> <p>使用中、使用直後はヒーターは熱くなっています</p> | <h3>長期不在のときは</h3> <p>差込プラグを抜くか、専用回路のブレーカーを切る</p> |
|---|---|--|

使用中の注意

| | | |
|----------------------|--|---|
| <p>ヒーターの空焼きはしないで</p> | <p>天ぷらなど油調理中は、その場を離れないでください。加熱しすぎると油が燃え出します。</p> | <p>多量にふきこぼれて汁受皿からあふれると、本体の底から外へ流れ出ます。</p> |
|----------------------|--|---|

じょうずな使いかた

| | | |
|---|--|--|
| <h3>底の平らな深目のなべを</h3> <p>なべ底が平らなものは熱効率が良い、深目のものはふきこぼれを少なくします。凸凹の底形状のなべでは熱効率が悪くなります。</p> <p>●なべの大きさはヒーターの直径と同じか、やや大きめが適しています。</p> | <h3>ゆでものはうす手、煮込みは厚手のなべを</h3> <p>青菜などをゆでるときは</p> <p>シチューやなべ物などは</p> <p>うす手のなべ 厚手のなべ</p> | <h3>余熱を利用しましょう</h3> <p>ヒーターを「切」にしても相当の余熱が残りますので、焦げつきなどを防ぐために少し早めに切る感覚でお使いください。</p> <p>スイッチを少し早めに切る</p> |
|---|--|--|

- 本体がさめて
- 台所用洗剤以外

本体

固く絞った布で

とれにくい汚れは、でふき、その後乾

リング、

つけ根は必ず拭き取らないでください

支持金具
掛け金具

- ①ヒーターの前へ押し、支持金具をかける。
- ②リングの切欠部分に支持金具をかける。
- ③突起部に手をかける。

お手入れ

(イラストはHT-4510形ですが、HT-3310形・HT-3510形も取り扱いは同じです。)

まっさらなついでに

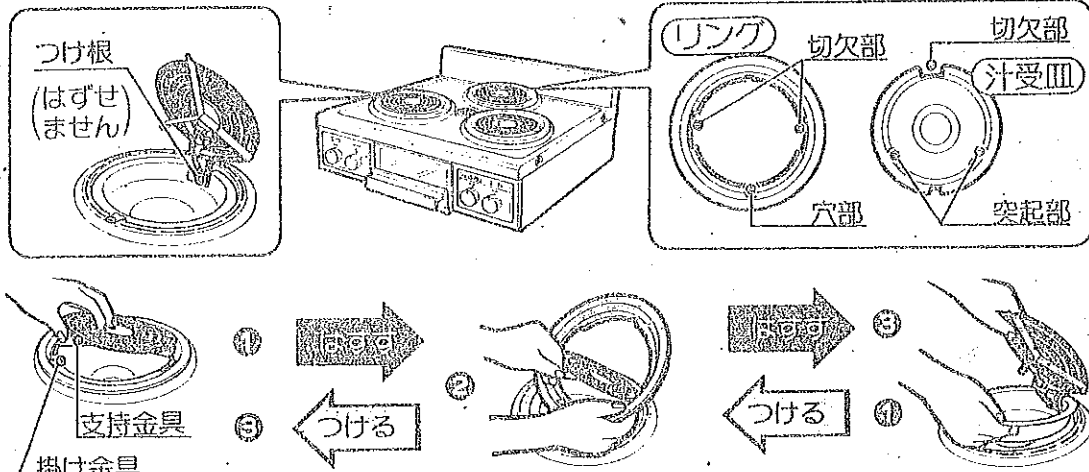
- 本体がさめてから行ってください。
- 台所用洗剤以外は使わないでください。



表面を傷めます

| | |
|--|---|
| <p>固く絞った布でふいてください。</p> | <p>取りはずして洗い、その後乾いた布でふいてください。 (お手入れ後はもとどおり取りつけておいてください。)</p> |
| <p>とれにくい汚れは、洗剤をしみこませた布でふき、その後乾いた布でふいてください。</p> | <p>こびりつきがひどい場合は、しばらく湯につけておいてから洗ってください。</p> |

リング、汁受皿のはずしかた・つけかた



はずしかた

- ①ヒーターの前面に手をかけて後(つけ根)へ押し、支持金具を掛け金具からはずします。
- ②リングの切欠部にヒーターを合わせるようにしてリングをはずします。
- ③突起部に手をかけて汁受皿を取ります。

つけかた

- ①汁受皿の切欠部をつけ根に合わせてセットします。
- ②リングの切欠部にヒーターを合わせるようにリングをセットします。
- ③リングの穴部と掛け金具を合わせ、支持金具を掛け金具にセットします。

仕

電

消費電

ヒ

コ

差

大

重

ア

直ちに

の販売

ア

次のこと

①品名

②形名

③症状

④道順

ご転居

を受け

ください

せてい

お買い

表)の

日立

〒105

は

を

皿

から

も

相

焦

少

し

く

だ

も

相

焦

少

し

く

だ

仕様

| | | HT-3310形 | HT-3510形 | HT-4510形 |
|--------|---------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 電 源 | | 単相 200V | | |
| 消費電力 | 右ヒーター | 約150W~1,505W | 約150W~1,500Wまで無段階火力調節 | |
| | 左ヒーター | まで無段階火力調節 | 約200W~2,000Wまで無段階火力調節 | |
| | 中央ヒーター | | 約100W~1,000W まで無段階火力調節 | |
| | グリルヒーター | 約100W~1,000Wまで無段階火力調節 | | |
| ヒーター切換 | | 左ヒーターとグリルヒーターの切換 | | 中央ヒーターとグリルヒーターの切換 |
| コードの長さ | | 0.6m | | |
| 差込プラグ | | 3極差込接続器(1極接地用) | | |
| | | 20A-250V | | 30A-250V |
| 大きさ | 本 体 | 幅60cm 奥行54.7cm 高さ16cm | 幅60cm 奥行55cm 高さ16cm(バックガード9cm除く) | |
| | グ リ ル | 幅21.5cm 奥行32.5cm 高さ8.7cm(有効5.0cm) | | |
| 重 さ | | 約10kg | | 約11kg |

アフターサービスと保証

使用中に異状が生じたときは

直ちに差込プラグを抜いて使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスを依頼するとき

次のことをお知らせください。

- ①品名……………日立電気キッチンヒーター
- ②形名……………HT-3310形・HT-3510形・HT-4510形
- ③症状……………できるだけ詳しく
- ④道順……………付近の目印も

前居される場合は

ご転居によりお買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。

アフターサービスについて 不明の場合、その他お困りの場合は

お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

保証について

- ①この商品は保証書付です。
- ②保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容を確認のうえ大切に保存してください。
- ③保証期間はご購入の日から1年間です。保証期間中でも有料となることがありますので保証書をよくお読みください。
- ④保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

- 電気キッチンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
- ①この期間は通商産業省の指導によるものです。
 - ②性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

日立家電販売株式会社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 502-2111

日立熱器具株式会社

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 502-2111

日立冷熱株式会社

〒101 東京都千代田区神田須田町1-23-2
(大木須田町ビル)
電話 (03) 255-7271